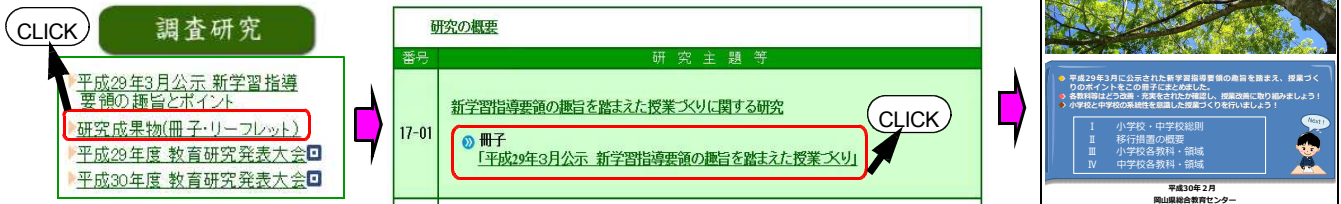


羅針盤

「新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり」(冊子) を活用した授業づくりに取り組みましょう!

新学習指導要領が公示され、小学校では平成32年度から、中学校では平成33年度から全面実施となります。県総合教育センターでは、授業づくりのポイントを冊子にまとめました。子供たちに確かな学力を身に付けさせる授業づくりに取り組みましょう。

～ センターHPよりダウンロードが可能です ～



冊子の中には・・・

各教科・領域の左ページには、「改訂の趣旨及び要点」を、右ページには「授業づくりのポイント」を示しています。

左ページ「改訂の趣旨及び要点」



改訂の基本的な考え方や新旧の学習指導要領を比較してどのように再構成されたかを示しています。
さらに、今回の改訂で改善された内容や引き続き充実された内容を示しています。

Point1 では、「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」のそれぞれの視点から授業づくりのポイントを具体的に示しています。

Point2 以降では、単元や学習のまとめりという学習過程を重視することや小学校・中学校の系統性を意識することなど、学習活動の質を高めるために必要なポイントを示しています。

右ページ「授業づくりのポイント」

Point1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をしましょう。

社会科において授業改善を行うに当たっては、生徒が課題を追究したり解決したりする学習活動の中で、資質・能力を身に付けていくようにすることが大切です。

〈主体的な学びの視点〉
・社会との関わりを意識した課題を発見したり、学習計画を立てたりするなどの見通しをもつ場面を設ける。
・学習の過程や成果を踏まえ、新たな課題を見いだしたり、社会のどのような場面で活用できるか考えるなどの振り返りをする場面を設ける。

〈対話的な学びの視点〉
・課題について考えたり選択・判断をしたりする際に、疑問点を共有したり、多面的・多角的な視点を踏まえて話し合ったりする。
・社会で働く人々が連携・協働して課題を解決している姿について、調べたり、話を聞いたりする活動を行う。

〈深い学びの視点〉
・事実に関する知識を習得することにとどまらず、課題を追究したり解決したりする活動 (Point2参照) を通じて、社会の中で使うことのできる知識や考え方を獲得できるようにする。
・生徒が調べたり、考えたり選択・判断したりする場面では、次に示す「見方・考え方」を視点とする。

社会的事象の地理的な見方・考え方	「社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目する」という視点と、「地域という枠組みの中で人間の営みと関連付ける」という方法のこと。
社会的事象の歴史的な見方・考え方	「社会的事象を、時期や推移などに着目する」という視点と、「類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付ける」という方法のこと。
現代社会の見方・考え方	「社会的事象を、政治、法、経済に関わる多様な視点に着目する」という視点と、「よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択や判断に資する概念や理論などと関連付ける」という方法のこと。

Point2 課題を追究したり解決したりする活動の充実のために、単元における学習過程を工夫しましょう。

事実に関する「知識・理解」を習得する授業に留まらず、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するために、課題を追究したり解決したりする活動が不可欠です。
学習過程のイメージとしては、課題把握、課題追究、課題解決の順に進めます。さらに、それらを構成する活動の例としては、動機付けや方向付け、情報収集や考察・構想、まとめや振り返りなどの活動が考えられます。
次に示す学習過程のイメージと各活動の例を参考にして、授業づくりを行いましょ。

課題把握		課題追究		課題解決	
動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
○社会との関わりを意識した学習課題を設定する	○課題解決の見通しをもつ	○予想や仮説の検証に向けての調べ	○社会的事象等の意義や相互の関係を既習の知識と関連付けて考察する	○考察・構想したことを整理する	○次の学びにつなげる
(例) ・課題と出会う ・気付きや疑問を出し合う など	(例) ・予想や仮説を立てる ・調べる内容や方法を整理し、学習計画を立てる など	(例) ・様々な種類の資料を収集・活用する。 ・情報交換を行う など	(例) ・比較したり、関連付けたりする。 ・選択や判断をする など	(例) ・自分なりの結論をまとめる ・結論について他者と意見交換をする など	(例) ・自分の調べ方や学び方を振り返る ・新たな課題を見出す など

研究主任
必見!

- ・学習指導案を作成・検討する際の参考資料として活用
- ・授業研究の際、授業参観や研究協議の視点として活用
- ・授業研究後、自分の授業づくりに生かす際の参考資料として活用

校内研修
で活用